



上田商店 ニュース

vol. 179

令和4年7月19日(火)

制作:上田商店サークル会
AM8:00送信

至急回覧!
ねがいます

社長	専務	部長		

ー上田サークル会 例会報告ー

荷物のいらない保育園

千葉県の認可保育園は、布団やオムツ、歯ブラシ、食事用エプロンなど「荷物のいらない保育園」の実施を今年1月より開始。5月より東京の大手クリーニング店と協働で、園児が使用する洋服も持ち込み不要として毎日クリーニングを実施するサービスの提供を開始した。このサービスで、完全に手ぶらで通うことができる保育園が誕生した。

利用する保護者へのアンケート結果では95%が「子どもと向き合う時間が増えた」と実感。保育者も「負担が大きく軽減され、保育の質の向上にもつながる」と好評だ。今後の課題は、衛生的な管理を徹底しつつエコロジーで地球に優しい素材等を検討している。

なにかとクレームがあると思うが、原因の裏付けをしっかりしていれば減らせるのではと思う。BtoBを含めて考え方を変える必要があるのではと感じる。

効率の良い販促を

販売促進はメディアミックスで効果が倍増する。●新規集客・休眠の復活に効果のある“チラシやクーポンについている縦半チラシ” ●既存客の来店促進に効果のある“DM・デカDM”。●新規客・既存客に効果のある“ポスター・のぼり”。●また、新規集客に効果のある“Googleビジネス・プロフィール”。●既存客に効果のある“LINE配信・メール配信・アプリ配信”。

販促は、息の長い紙媒体と瞬発力のあるデジタルツールを上手に組み合わせることで、効率の良い効果を得る事ができるのではと思っている。

環境に配慮した商品づくり

SDGsやサステナビリティ、エシカル消費といったことへの関心が高まる中、プラスティック使用量の削減への取り組みで、ボトルを使わないのでプラスティック使用量を削減する商品。従来の固形シャンプーは問題があり普及が進んでいなかったが、「環境配慮」と「理想の仕上がり」の両立を追求した次世代固形シャンプーが開発され、5月に全国販売された。

同じように、ビールや酒類・飲料品も品質が保たれ、粉末や固形化されていけば、プラスティック容器や配送エネルギーの大幅削減につながり環境に配慮した商品になるのではないかと思う。

キャンペーン

先月は、コンビニ大手が競ってキャンペーンを行っていた。無料や半額キャンペーンには、対象商品の購入やもともと必要な物以外の購入メリットがある。無料券や割引券で交換した物は、本部もちで店側の負担はない。

クリーニングでは、全国スマイルプロジェクト参加店による「学生服無料キャンペーン」だ。昨年参加した神戸市のクリーニング店では、今年もキャンペーンを実施した。昨年は、想定を超えて1万3千数百点の学生服が集まった。利用客のアンケート結果は、接客スタッフから工場スタッフまで全員で共有。その内容にスタッフも笑顔になるという相乗効果もあった。

これからも無料でなくとも、お試しキャンペーンとして「水洗い物(Tシャツやポロシャツなど)やランドリー物の取り込みを提案してはどうか」と思う。

暑中お見舞申し上げます

コロナ禍に加え、ロシアによる侵略戦争、元首相が凶弾に倒れる。そして、毎年当然のごとく報じられる記録的な猛暑。ストレス充満ですが、切磋琢磨して頑張るしかありません。今回も、様々な情報を持ち寄り話し合いました。掲載分以外にも、「クリーニング利用調査で、業界への要望は、高級シミ抜きが高く、早朝・夜間営業して欲しい、20~30代は宅配して欲しい」というものだった。参考になればと思う」という意見もありました。

上田サークル会 会長 上田 良堂

今回も、
他業種情報を含め
提案をまとめました。

Z世代について

世界人口の32%に達すると言われるZ世代(今年1月時点で11~22歳)。この世代の価値観や消費の特徴や性質を理解し戦略を構築していくことが肝要だ。

この世代は、幼くしてネットや電子機器と共に生活。金銭感覚は、やや保守的で貯蓄や節約に対する関心が強く、安定思考が共通する価値観。消費の特徴は、コストパフォーマンスを重視し、商品やサービスを選ぶ。

マルチチャネルの活用や商品・サービスに対するストーリー性の付与といったアプローチが必須。また、環境資源に配慮した取り組みが重要だと思う。

好調なコインランドリー

先月末のTVで“好調なコインランドリー止まらぬ進化”という特集が放映された。(内容の要旨)

「コインランドリーは、この6年間に3割増。異業種の参入もあり今後も右肩上がりだ。ランドリーは、1970年代は単身世帯、90年代は単身・共働き世帯が5分5分。現在は、共働き世帯が多く、コストより時間が優先されるなどライフスタイルの変化に伴い形を変えてきた。ペットや敷布団専用、洗剤を使わない洗濯機など、利用者に魅力的なスペースに進化している。

また、兵庫県高砂市の美容室は、コインランドリーを併設。もともと店で働くスタッフの為に作ったものだが、アメリカの新聞で取り上げられるなど注目を浴びている。他にも、カラオケ店などとのBtoBなど拡大しつつある」というものだった。

関西の高級ホテル、1300室不足

日本政策投資銀行(DBJ)関西支店は、6月8日、関西で新型コロナウイルスの収束後に1泊10万円超の高級ホテルの客室が約1300室足りなくなることの試算を公表した。関西2府4県すべてで需要が供給を上回り、客室は1312室不足する見通しとなった。

都道府県別の日本人と外国人の観光客数を基に、1泊2人で10万円超の高級ホテルの需給を算出。インバウンド(訪日外国人)がコロナ禍前の水準に回復すると想定される2026年時点の数値として推計した。

インバウンドを想定し、今やるべきこと、今しか出来ないことが、BtoBを含め何かありそうに思う。

ファッションリユース市場

2019年の国内ファッションリユース(中古)市場は、16.1%増の7200億円。2016年が4600億円で、2022年度は、9900億円と予測されている。

服を売らないアパレルブランドは、不要な服を3着以上持ち込むと、店内で3着まで選んで持ち帰れる交換サービスを19年秋から開始。サービスの入場料は3000円。当初は、1日3組程度だったが、21年は会場の規模に合わせた70~200枚のチケットが完売。価値観でつながりたいと考える消費者が増えていることが成長の要因のようだ。

90年代のファッションが見直されている。クリーニング店がからめないか、狙いは、Z世代だと思う。

令和4年度「業務改善助成金」

『業務改善助成金(通常コース)』は、生産性を向上させ、「事業場内で最も低い賃金(事業場内最低賃金)」の引き上げを図る中小企業・小規模事業者を支援する助成金。

【概要】事業場内最低賃金を一定額以上引き上げ、設備投資(機械設備、コンサルティング導入や人材育成・教育訓練)などを行った場合に、その費用の一部を助成する。

要件さえ満たせば支給される。利用すればと思う。

この情報に関するお問い合わせ・ご注文は、
お気軽に右記の 上田商店 までお願いいたします。

□電 話 06(6633)4621 担当:上田
□F A X 06(6633)4625 (24時間受付中)

□営業時間 AM 9:30~PM 5:00(月~金)
□URL <http://www.uedashouten.jp/>